



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

## こども家庭庁へ要望

# 「性と健康の相談センター事業」の 相談支援体制の充実強化および看護職の活用を

公益社団法人日本看護協会（会長・高橋弘枝、会員 75万人）は3月3日、こども家庭庁の藤原朋子成育局長に「令和8年度予算・政策に関する要望書」を提出しました。報道関係の皆さまにおかれましては、要望の趣旨をご理解いただき、さまざまな機会にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

我が国では、成育過程にある者およびその保護者並びに妊産婦を取り巻く環境が大きく変化する中、女性の健康や学童・思春期における問題などさまざまな課題があります。国ではプレコンセプションケアを含む「性と健康の相談センター事業」の拡充を進めていますが、性と健康に関する相談支援は秘匿性が高く、専門性が高い知識が必要とされることや、効果的な相談支援には時間や手段に捉われず相談できる必要があるため、本会は、相談支援体制の充実強化および看護職の活用について要望しました。

高橋会長は「性と健康に関する相談支援は、相談者が安心できる環境が不可欠である。専門知識を有する専任の保健師や助産師などの看護職を配置するとともに、24時間対応やSNSでの相談対応を強化することで、相談者が相談したいときにしっかりと対応が出来ることが、より多くの人が必要な支援を受けられることにつながる」と述べ、相談支援体制の充実強化と看護職の活用の重要性を強調しました。

藤原成育局長は「支援を必要とする人に確実に事業の手が届くようにしていきたい」と述べ「本事業をより効果的なものとするために、日本看護協会が持つ相談支援の成功事例を共有し、双方で協議を進めていきたい」との意向を示しました。



藤原成育局長（右）に  
要望書を手渡す高橋会長

## 《要望事項》

「性と健康の相談センター事業」の相談支援体制の充実強化および看護職の活用

令和7年3月3日

こども家庭庁

成育局長 藤原 朋子 殿

公益社団法人 日本看護協会  
会 長 高橋 弘 枝



## 令和8年度予算・政策に関する要望書

近年、我が国では、成育過程にある者およびその保護者並びに妊産婦を取り巻く環境が大きく変化している中で、女性の健康や学童・思春期における問題など様々な課題があります。このような中、国では成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針(令和5年3月22日閣議決定)に沿って、プレコンセプションケアを含む「性と健康の相談センター事業」の拡充が行われています。

性と健康に関する相談支援は、秘匿性が高く、専門的な知識を必要とするものが多く含まれています。これらの相談支援を効果的に行うためには、時間や手段にとらわれず柔軟に実施されることが重要です。

また、専門性の高い人材配置は、性や健康管理に対する正しい知識を普及し、充実した相談支援には欠かせません。今後、さらに「性と健康の相談センター事業」を効果的に実施するためには、相談支援事業の人材配置も含めた体制整備の強化や更なる拡充が必要です。

以上より、令和8年度予算案等の編成ならびに政策の推進にあたっては、以下の事項につきまして、格別のご高配を賜りますよう要望します。

### 要 望 事 項

「性と健康の相談センター事業」の相談支援体制の充実強化および看護職の活用

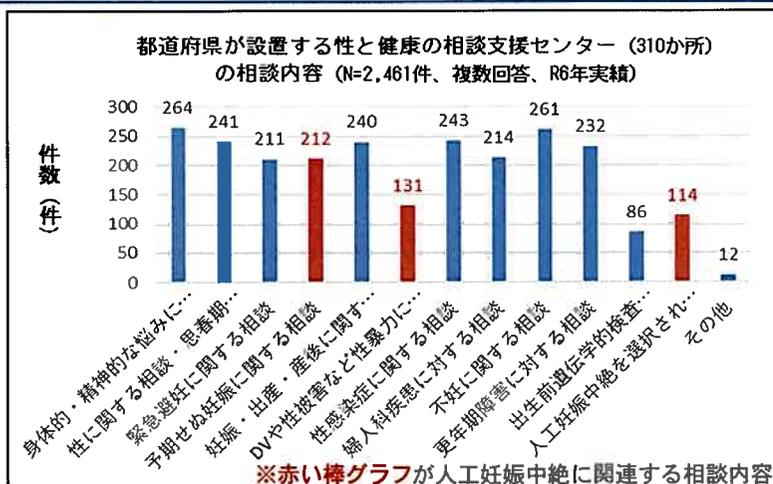
# 「性と健康の相談センター事業」の相談支援体制の 充実強化および看護職の活用

相談者が相談したいときに相談できる性と健康の相談センターとして十分活用されるよう

- ・ 事前予約の必要がなく、24時間複数的手段で相談できる柔軟な相談体制を整備されたい。
- ・ 安心して相談できる体制として、専任で秘匿性の高い相談に十分配慮でき、性と生殖に関する専門知識を有する保健師、助産師をはじめとする看護職を活用されたい。

# 「性と健康の相談センター事業」の相談支援体制の充実強化 および看護職の活用

- ・性と健康相談センター事業の特徴は、秘匿性が高いデリケートな内容を扱う業務で専門性も高い。
- ・例えば、人工妊娠中絶は、126,734件（R5実績 衛生行政報告例）実施されているが、（中絶に）関連する相談件数は5%前後であり、相談センターの十分な活用には至っていない。
- ・性と健康相談センターの相談には、事前予約が必要であり、相談受付や相談の実施を24時間実施している窓口はほとんどなく、相談者が相談したいタイミングに相談できる体制ではない。



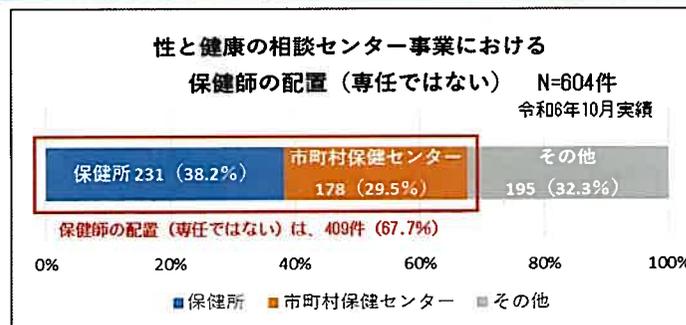
出典：性と健康に関する相談 こども家庭庁  
<https://www.cfa.go.jp/c88f0335-6d3b-4d83-a7ae-38557db5c103>

## 24時間受付や相談を行っている窓口数

手段	24時間受付 N=310か所（R6実績）	24時間相談の実施 N=294（R4実績）
対面	0	0
電話	3	2
SNS	23	11
アウトリーチ	0	0

出典：全国の性と健康の相談センター窓口一覧 こども家庭庁  
<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/seitokenkogaio>

- ・性と健康の相談センター事業を担当する看護職（保健師）の配置は、6割以上が専任ではない（可能性がある）



出典：性と健康に関する相談 こども家庭庁  
<https://www.cfa.go.jp/c88f0335-6d3b-4d83-a7ae-38557db5c103>